

東区健康づくり公開リレー講座開催!!

「地域連携協定」の締結を記念して、『健康』をテーマに3教育機関の講師がリレー方式で3回の講座を開催しました。

1回目「音楽の力・生きる力」(11月6日開催)

札幌大谷大学芸術学部音楽学科の関谷 正子教授が音楽がもたらす作用について講義を行った後、来場者と「ふじの山」と「一月一日」の同時唱や交互唱などを行いました。

2回目「食中毒を防ごう～生肉・生レバーはなぜ危険なのか～」(11月13日開催)

天使大学看護栄養学部栄養学科の高島 郁夫教授がユッケやレバーなどにより発生した食中毒の事例を挙げながら食中毒の原因となる菌の説明や、食品衛生に関わる基礎知識などについて講義を行いました。

3回目「アンチエイジング・エクササイズ～加齢に伴う筋量の減少を防ぐ～」(11月20日開催)

専門学校北海道体育大学校の澤田 友紀専任教員が筋量の低下が引き起こすリスクや、筋量を維持・向上させるエクササイズとその効果について講義を行った後、学生が補助に入りながら来場者と一緒に運動を行いました。

会場：東区民センター2階大ホール

第1回「音楽の力・生きる力」の様子



東区と各校の活動紹介コーナー



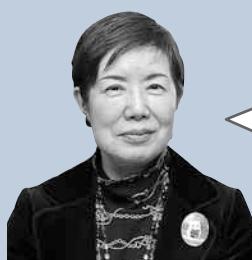
毎回、区と3校の資料を展示しました。来場者は熱心に展示物を眺めていました

来場者は、「講座の内容を町内会の集いで活用できないか参考にしたい」「最後まで楽しく受講できました」など笑顔で話していました。

この講座は、受講者に大好評だったので今年も開催予定です。



教育機関にとっての連携事業の意義や、将来に向けた展望について、3校の代表に聞きました。



天体大学
まるやま ともこ
丸山 知子学長

大学には人的、知的財産がありますので、東区の皆さんのためにお役に立てればという考えで連携事業に参加しています。学生たちにとっても学校で学んだことを、地域に発信する貴重な機会になっていると思います。今後は、学校から地域に貢献できるアイデアをもっと積極的に出していき、東区の活性化に協力していくべきだと思います。



札幌大谷大学・
札幌大谷大学短期大学部
いわき たかのり
巖城 孝憲学長

東区との連携事業で、学生たちが学外に出て、地域の人々との出会いの中で多くのことを学び、吸収していくことは、大変喜ばしいことだと思います。また、地域の中で経験したことは、学生たちの大きな財産になっていると思います。今後も、先生や学生たちと一緒に東区の企画に積極的に参加し、地域社会に関わっていきたいと思います。

これからも、各校の皆さんと協力して、東区のまちづくり事業を行っていきます。



学園自体が地域の人材づくりに取り組んでいますので、学生の段階から地域に結び付くような活動に参加できるのは、非常に良い教材になっています。学生を見ていると、ボランティアを通じコミュニケーション能力などが高まっていると感じます。今後も、地域の方々にわれわれの専門性を生かした情報、ノウハウを提供し、地域の健康づくりの担い手になれればと思います。



専門学校
北海道体育大学校
しんむら おさむ
新村 治校長

